

～先輩職員Interview～

※掲載者の所属、職名は令和6年度時点のものです。

事務

現在の仕事内容を教えてください。

現在、市内企業のサポート業務を中心に、事業承継に関する支援や各種補助金制度の運営業務を担当しています。企業の成長や円滑な世代交代を支援するため、事業承継施策の立案や補助金の計画策定のサポートを行い、適用可能な補助金の案内や申請手続きの支援を通じて、地域経済の活性化に貢献できるよう業務に取り組んでいます。

鳥取市職員を志望した理由は？

生まれ育った鳥取市に対し、「鳥取市はとても素敵なおとこだ」と日々実感しており、この魅力をさらに高めることに、市職員として貢献したいと考えています。これまで地域で多くの方に支えられてきたからこそ、今度は自分が鳥取市の役に立ちたいという思いが強くなりました。特に行政の立場から市民の暮らしを支え、より良い環境をつくることで鳥取市のまちづくりに貢献したいと考え、市職員を志望しました。市民の方々が誇れるまちづくりに尽力していきたいです。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

鳥取市職員として、市内企業の発展を支援できることに大きなやりがいを感じています。特に補助金制度を通して企業の成長を後押しでき、その結果として感謝の言葉をいただいた時は、自分の仕事が地域の役に立っていると実感できる嬉しい瞬間です。また市内企業の希望を叶えるために動き、施策を考えられる点も魅力の一つです。経営者の声を直接聞きながら、具体的な支援策を形にし、地域経済の活性化に貢献できることにやりがいを感じます。今後も企業や市民のために日々頑張りたいと思います。

鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

鳥取市職員の仕事は、地域の課題に向き合い、解決策を考えながら、まちの発展に貢献できる魅力があると感じています。時には難しいこともありますが、その分自分の仕事が市民の役に立っていると実感できる瞬間が多くあります。働くうえで不安や分からないことが沢山あると思いますが、素敵な先輩や上司の方々が温かく受け止めてくださるので安心して下さい。みなさんと一緒に働くことが出来る日を心待ちにしています。



企業立地・支援課

手嶋 航太郎 主事

(令和6年度採用)



保健師

健康づくり推進課

本郷 眞子 保健師

(令和5年度採用)

鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

市民の皆様と多く関わることができる機会があり、とても楽しくやりがいがあります。保健師の仕事にゴールはなく、時には粘り強さも必要です。

鳥取市の保健師は、3年目までプリセプターやトレーナーと言った指導者が丁寧にサポートしてくださり、安心して仕事ができます。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

現在の仕事内容を教えてください。

地域保健とたばこ・アルコール対策事業を担当しています。地域保健では、担当地域の新生児から高齢者までの健康維持と増進のために教育や訪問などを実施しています。たばこ・アルコール対策事業では、禁煙の促進、身体に及ぼす影響などについて啓発活動を行っています。

鳥取市職員を志望した理由は？

私は大学卒業後、2年間看護師として働いてから鳥取市の保健師になりました。看護師の時、患者さんと関わる中で健康に過ごせることが当然ではないと感じました。保健師として疾病予防を行い、私の生まれ育った鳥取市で市民の皆様がいつまでも健康で生活できるよう支援したいと考えたため、志望しました。鳥取市は、保健所業務も担っているため、難病や精神保健など様々な経験をすることができると考えたことも理由の一つです。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

私の所属している健康づくり推進課は、対象者が幅広く、分野も様々であるため、日々の積み重ねが大切な部署です。大変なこともありますが、他部署の方とも連携しながら仕事をしています。

家庭訪問、乳幼児健診などで新生児期から関わっていたお子さんの成長を見た時や、地域で健康づくりのお話をした後、参加者から「健康について知ることができて良かった」「初めて聞いた内容だった」などと声を掛けてくださる時が嬉しく、やりがいを感じます。保健師の魅力は、対象者と現在、将来と継続して関わるところです。

